

理事長コラム

新たな10年先を見つめて
次のチャレンジへ

就労移行支援 すたあと
はたらく意味

就労継続B型 ここに
ここに1周年

ご寄付ありがとうございました

Information

居宅支援
ようこそふゆーちゃーへ

生活介護
水陸両用バスに乗る!!

編集後記

こっからの商品が買えるお店

自然派ビュッフェレストラン「鹿野園」

Column

新たな10年先を見つめて次のチャレンジへ —家族や職員が果たすべき課題について—

社会福祉法人こぶしの会 理事長 藤井 正紀

昨年度のこぶしの会10周年を終えて、新たな2012年度がスタートしました。

というものの、こぶしの会としてはまだ次年度以降の新しい方針や課題などを明確に決めているわけではありません。今年も含めて今後2～3年の間に新しい方針を決めようと思っています。その為にこぶしの会や各事業所では職員や仲間（時には家族も含めて）、これまでやってきたことを振りかえり、その内容を吟味し実践課題を作り上げることが大切であると思っています。

そこで今回は、仲間の今後の生活や活動に向けて、親や家族や職員が心して取り組むべき内容について記しておきます。そのキーワードの一つは“自分を”と“こぶしの会でよかったこと”を再度確認することだと思っています。

仲間たちが“自分を”知ることは簡単なようですが大変難しいことです。もちろん障害のためきちんと認識ができない場合もありますし、逆に障害が比較的軽い場合、いじめや無視などのマイナスイメージが強い場合があります。しかしまったく無理かといえはそうでもなく、仲間の実態に応じてわかることはできるのです。

例えば、生まれた日や時間、どこの病院で、その時の様子、自分の名前の由来、その時の両親や家族の心配や喜びなどは、家族で共有しておくことが大切です（できれば施設の職員も含めて）。

もう一方では、施設の中での仲間の変化や発達を

共有し、みんなのものにしていくことも必要でしょう（できれば家族にも）。例えば、他の仲間への配慮や気遣い、我慢する力、ユーモアや冗談、新たな能力の発見、パニックの状況、旅行や行事への企画力、バスや電車でのマナー等で、これらを、施設職員、家族がともに共有することにより、今後の自律（自立）に向けた課題が明らかになる事でしょう。

これと関係することですが、仲間がこぶしの会（こっから、すたあと、ここに、ふゅーチャー、ひまわり、ぐうぐうハウス、かたつむり）との関わり合いを持った時の様子や入所する際の家族の期待、または本人の願いなども重要です。

こぶしの会はこれらの実践を積み重ね、仲間たちの地域での生活、家庭での生活、施設や事業所での集団的な生活をより有意義なものにしていきたいと思えます。

全障研運動の中で、障害を持つ青年期や大人の発達課題として次の4つが大切だといわれています。それは〈自分で自分がわかる力〉〈自分の行動に見通しが持てる力〉〈持続的な意志力とそれを実行する力〉〈「私」を支える集団の力〉です。幸いなことに、こぶしの会の中には、仲間自治会、きょうされんの利用者部会あかつき、家族会、こぶし後援会など組織があり、これらの組織が議論し、協力しあい今後の実践を行っていききたいものです。

Column

「はたらく意味」



奈良教育大学の障害者教育社会学を学んでいる学生10人に「すとあと」の仲間2人が「はたらく」をテーマにお話をしにきました。すとあとの仲間がはたらく意味を悩みながらも模索し夢を語る姿は、卒業後の進路と向き合う大学生とちょうど重なりました。

きっかけは、「障害のある人の悩みをいろんな人に知ってもらいたい」という仲間の声からでした。思いのたけをたくさん話したいという気持ちがあふれ、素晴らしい講演となりました。

ある会社で、つらいことがあり職場でも相談したが辞めることになった体験談に対し、同じような経験をした友達を持つ学生さんからは「辞める勇気」を持てたことがすごいと思う、という感想が述べられました。障害児の余暇支援ボランティアを行っている学生さんからは、「今までどういう思いをして生きてきたかがよくわかった。」と内面の変化の歴史に共感を示されました。大学を辞めようか悩んでいた学生さんは、「一歩踏み出す勇気をもらえた」とうれしい感想を。

授業の一コマを提供していただいた越野和之教授からは、「こういう機会を何度か持ちたいですね」とおっしゃっていただきました。学生の皆様。真剣に聞いて、感じて、考えてくださってありがとうございました。
(島 耕治)

「ここに1周年！」



6月1日、ここには開所1周年を迎えました。開所式当日は雨でしたが、1年後のこの日は晴天。この1年で仲間も2名から7名に増えました。週1～2日だけや半日単位で利用する方、他の場所でも仕事をされている方がいるなど、色々な利用の仕方をされています。ここに市をはじめ、仕事も軌道に乗りつつあり、徐々に忙しい日が増えてきました。

1周年当日の朝会の時に、仲間代表から「これからも地域に貢献できるよう皆でがんばりましょう!」という頼もしい挨拶がありました。その後は皆で外食へ。

大和高田市にある「コッペ高田Ohisama Lunch」へ行きました。メイン料理以外はバイキングで食べ放題だったので、お腹いっぱい食べました。その後は、竹取公園や桃尾の滝へも行き、1日思いっきり楽しんできました。またこれから頑張って、来年2周年記念外出にも行きたいなあ。
(新谷 和博)

※野菜やお米の配達承ります(主に水曜日)。近隣の方は無料。
お米は郵送も可(送料はご負担下さい)。
お問い合わせは、0742-31-2444まで

いただきました。ありがとう！
ご寄付

カーブス押熊店様



昨年引き続き今年もカーブス押熊店様より、会員の方々がご提供くださった食品や日用品を施設等に寄贈するという活動の一環でこっからにもたくさんの寄贈品を届けてくださいました。食品等はケアホームなどの居宅支援事業所で、その他日用品は各事業所で大切に活用させていただきます。

一般財団法人日本メイスン財団様



コールドテーブル冷蔵庫を寄贈していただきました。
テーブル型の冷蔵庫で、これまで別の場所で保管するしかなかった食材をパン工房内でまとめることができ、作業効率がよくなりました。

近畿セキスイ労働組合様



プロジェクターとプリンターを寄贈していただきました。
イベントや活動でのDVD鑑賞はもちろん研修等でも活躍してくれそうです。
プリンターも紙すき工房で大活躍しています。

日本風景写真協会奈良第一支部様



「歓びの詩」
「天空の大河」
2点の作品を
頂きました。

今年もまた日本風景写真協会奈良第一支部の皆様より、作品展に出品された中から2点をご寄贈いただきました！！
これまでご寄贈いただいた作品とあわせ、こぶしの会の各事業所で飾らせていただきます。

- 9月29日(土)~30日(日)
第35回きょうされん大会inふくい
- 9月30日(日)
チャレンジハイキングin鳥見山
- 10月21日(日)
東市まるごとこどもフェスタ
- 11月11日(日)
第11回こっから祭

宮城産豆乳で豆腐作り

奈良の作業所「復興支援に一役」



「コミュニティワークこっから」で豆腐作りに励む人たち(奈良市で)

奈良市吉町の障害者作業所「コミュニティワークこっから」に通う人たちが、宮城県産の豆乳を使った豆腐作りを続けている。豆乳は東日本震災で被災した仙台市内の豆腐店が手掛けており、メンバーは「被災地の復興支援にも役立てば

うれしい」と話す。「こっから」は、作業所で障害者と職員2人が豆乳にかりを加え、次々と型に流し込んでいく。声かけはミスを少なくするための工夫。手順を覚

えるのが苦手なメンバーもいるため、作業はマニュアルに沿い、2人1組で進める。佐野吉さん(43)は「少しでもおいしい商品を作りたい」と笑顔を見せる。作業所は2007年11月、豆腐作りを全国の障害者に指導する仙台市の「森徳とうふ店」の協力で事業を始めた。作り方に慣れるにつれ、「甘みがあって納めできる味」と口コミで人気が広がった。

8月21日の読売新聞にどうぶ工房が紹介されました。掲載されてすぐ、「新聞記事を見て、とても美味しそうに興味が高まりましたので、買いに行きたいです。」と嬉しい問い合わせが早速ありました。後日、バスの乗っ買いにきてくださいました。

Topix

5月



つながり祭に参加しました。

7月



地域の小学校の協力でプールを開放して頂きました。



5月

さくらんぼ狩りをさせて頂きました。



8月



東市高円の杜夏祭りに今年も参加させていただきました。



6月

金星の日面通過



8月

めえめえ牧場へ行きました。



スイカ割りの後はかき氷も食べました。



居宅 News

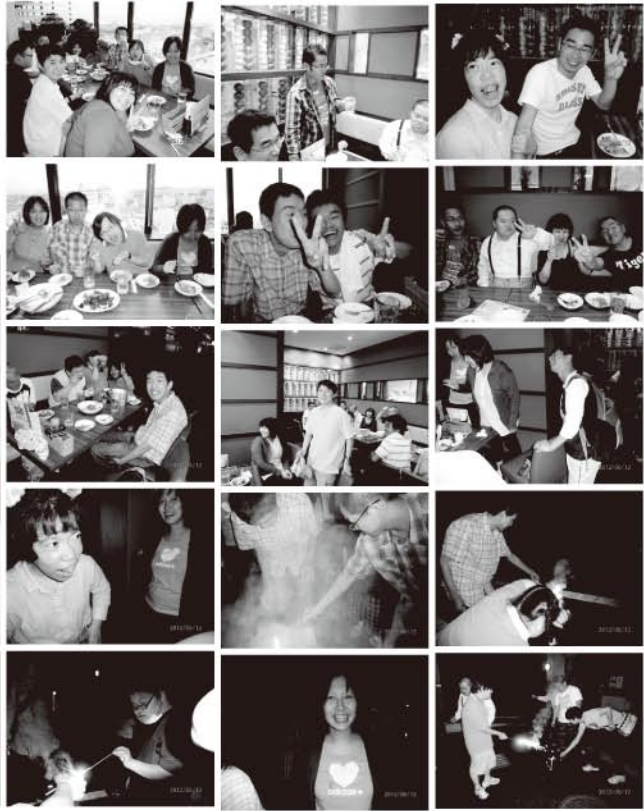
Caring home

ぐうぐうはうす・ひまわり・かたつむり

かたつむり2周年

この6月で、かたつむりは2周年を迎えることができました！今年はパン工房からの飛び入り参加があり、総勢22名でカプリチオーザでお祝いパーティーをしました。

かたつむりらしく夕食時は雨が降っていましたが、花火の時には雨がやみ、300本以上の花火をみんなで楽しみました。



CH日帰り旅行

今年のケアホーム合同の日帰り旅行では、近鉄電車に乗って神戸モザイクへ行ってきました。まずは、コンツェルトという船に乗り、豪華な中華料理のコースをいただきました。その後は、モザイクで買い物を楽しんだり、観覧車に乗って景色を眺めたりと、自由に散策しました。



活動班、水陸両用バスに乗る!!の巻

こんにちは、生活介護部門・活動班です。10名の仲間と4名の職員で働く力の根っこを日々育てているグループです。

比較的障害が重い仲間のグループですが、ずっと室内ですごしているグループではありません。こっから内の他班と比較すると、かなり外で活動している班です。散歩や買い物、リサイクル活動（アルミ缶・廃品回収）にパン、おとうふの配達等、半日は必ず外へ出かけ体を動かす事や、応援してくださっている地域の方々のもとへお伺いしております。（室内作業もあり軽作業、調理活動、入浴なども行っております。）

かっこつけて言いますと渉外・啓発活動でしょうか。

「またがんばりませす」の仲間の挨拶と共に。

そんな活動班、年に2～3回全日を使ってお出かけ企画を行います。企画の趣旨は自分たちの給料を自分たちで使う!! そのひとつとして、表題の水陸両用バスに乗った様子をお伝えいたします。

3月下旬、水陸両用バスの乗車?乗船?へ。場所は、大阪中ノ島。全編公共交通機関を利用して目的地を目指します。一般的には奈良から中ノ島までそれほど構えることは無いのですが…自動券売機の買い方、自動改札機の通り方など普段経験していないことの目白押し、ピンポーンと音が鳴ったり、券を取らずに通ったり、何気なく改札機に入ってしまう前後とも扉が閉まるなどなかなかの珍道中。めげずに目的地を目指します。

いい経験だと前向きに前向きに。電車は普段乗らないので新鮮!! みんな笑顔です。

無事予定通り中ノ島に到着。陸上ではバス、川に入ると船になるワクワク感と共に乗船をしてみると…開放感バツグンの乗り物です。窓がありません。有るのは運転席の前面のみ。この日は雪がちらついていたので少し寒い…。

予定通り出発! 陸上観光の45分を終えいよいよ水上へ。水しぶきと共に乗っていたバスが船に。入る瞬間「アー!」と声を出す仲間も。その後は水上観光を30分。船内でお土産を買う人や水面を眺めている仲間も。

楽しい思い出をたくさんたくさん創っていきたい。そ

のために、頑張ってお仕事や活動を頑張るんだ!!そんな思いがもっともっと一人一人具体化できればいいなと思いつつ今回の珍道中。

電車やバス、船など乗り物が大好きな活動班の仲間にとっては手ごたえのある企画であったはず。次回も公共交通機関を利用した企画を活動はみんなで考えよう。

ただ昼食の九州料理屋さんのご飯がみんな1番生き生きしていたようにも少し感じられましたが、きっと気のせいでしょう。

たくさんの感動と共にこれからも仲間と共に働く力の根っこをうんとうんと大きく育てていけたらいいなとおもっています。

(梅田 玲輔)



編集後記

先日、法人職員全体研修会を開催しました。年に2回、こぶしの会の全事業に携わる職員と一緒に学ぶ貴重な機会です。25年前に3人の職員（うちパートさん1人）でスタートした作業所運動も今では40人が働く事業へと広がって来ました。平日の日中、夜間、休日、余暇など支援内容や勤務時間は多様化し、顔を合わすことのない職員さんも増えています。そんな中で、社会の情勢を学び、それぞれの実践や、そこでの悩みを知り、

「仲間が主人公」という理念をみんなで共有していくことが本当に難しくなっています。障害があってもなくても誰もが豊かに暮らせる地域をつくる。そんな夢の実現をめざし、仲間と一緒に笑ったり泣いたりしながら共に成長していける、福祉労働のやりがいや喜びを感じることのできる職員集団でこれからもあれるように、皆で進んでいきたいと思っています。

(古木 一夫)

自然派ビュッフェレストラン「鹿野園」



奈良佐保短期大学とプロトンダイニングとの連携で運営されているビュッフェレストランです。安心・安全・手作り、そして地産地消をテーマに、ゆったりとした気分で体にやさしい食事を楽しむ場を作り、できるだけ安全で新鮮な地元の材料(大学の農園で収穫された野菜も含む)が使われています。

奈良県認定「眺望のいいレストラン」にも選ばれました。

現在、こっからのおとうふを惣菜バイキングに使っていただいています。「新商品のバジルとうふも美味しいですね、人気ですよ。」とスタッフの方からも嬉しい評判を聞かせてもらいました。



住所 / 〒630-8566 奈良市鹿野園町806 (奈良佐保短期大学構内)

電話 / 0742-62-3802

営業時間 / ■ランチタイム

平日 / 13:00~15:30 (オーダーストップ 14:30)

土日祝 / 11:30~15:30 (オーダーストップ 14:30)

■ディナータイム

月火水木 / 17:30~20:00 (オーダーストップ 19:30)

金土日祝 / 17:30~21:00 (オーダーストップ 20:30)

メニュー / ビュッフェ (基本コース)

選べるメインディッシュ + 惣菜バイキング + ドリンクバー

ランチ / 1300円 ~ ディナー / 1600円 ~

定休日 / 無

座席 / 100席

駐車場 / 40台